

# HCU EAGLES NEWS

広島都市学園大学 女子バスケットボール部 R6.12 NO.22



## 第76回全日本大学バスケットボール選手権大会

大会前には中国放送をはじめ広島テレビ、中国新聞で創部4年での初出場を報道されたこともあり、沢山の方々から激励の言葉をかけていただいた。そして迎えた11月29日(金)グループステージの初戦は九州3位福岡大だった。1Qは両チームともペースをつかめず、互角の戦いが続いたが、2Qから徐々に点差を開けられたため用意したゾーンディフェンスで対抗した。しかし前半終了間際に3連続3Pを決められたダメージは大きく、後半マンツーマンに戻したが力及ばず苦杯をなめる結果となった。2日の間を開けて行われた第2戦、北海道3位の札幌学院大との戦いでは、相手のゾーンディフェンスを攻めあぐね13点差で前半を終了。後半徐々にゾーンオフェンスが機能し、2点差にまで縮めたところで3Q終了。4Q残り9分で逆転してからもシーソーゲームが続いたが最終的には5点リードで逃げ切った。初出場で念願の1勝を挙げる事ができたが、翌日福岡大が、札幌学院に勝利したためグループステージ2位となり、初めてのインカレは幕を閉じた。創部から共に部を築き上げてきた4年生との長い道のりにもピリオドを打つこととなった。数え切れない程の苦労をともした4年生の2人には、心からの感謝とともにお疲れ様と言いたい。



11月29日(金)

HCU 54	17 - 18
	12 - 30
	8 - 20
	17 - 15

83 福岡

12月2日(月)

HCU 70	11 - 19
	15 - 20
	24 - 13
	20 - 13

65 札幌学院

### インカレを終えて選手からひとこと

関口奈優(4年) この4年間私が思いきりバスケットに向き合えたのは、家族・チームのみんな・先生方・保護者さん、沢山の方々のサポートがあったからです。そしてみんなで全国の舞台で戦うことができとても嬉しい気持ちでいっぱいです。しかし、初めて全国のチームと戦ってみて、通用したところもあったけど、まだまだ自分の未熟さを知ることができました。これからは全国で戦えるチームを作っていくように日々成長していくので、広島都市学園大学の応援をお願いします。本当にありがとうございました。

科野有沙(4年) 今まで沢山の応援やサポートありがとうございました。入部当初からの目標であった「インカレ出場」を達成できたのは皆様のサポートがあったからこそです。これからは成長していくHCU EAGLESの応援をお願いします。

山本帆夏(3年) この度はご支援ありがとうございました。また、応援ありがとうございました。初めてこの舞台を経験し、来年もこの舞台に帰ってきたいという思いが強くなりました。これからも頑張るので、応援よろしくお願いします。

光本涼香(3年) まずは今回インカレ出場に伴い、多くの方々にご支援、ご声援をいただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。インカレ出場が決まってから、多くのメディアに取り上げていただいたり、多くの方々から「おめでとう」という言葉を頂き、沢山の方から注目して頂く中での初出場、予選リーグ突破という目標には届きませんでしたが、インカレ出発前から全員で協力して準備し、「全国1勝」はできたので良かったと思います。4年生2人と3年間一緒に頑張ってきたので、最

後に勝利という形で終わることができ、嬉しかったです。このチームはもっと上に行けるというの思いました。今回、全国大会という舞台を経験させて頂き、都市学園の今のレベルも分かったし、もっと上位を狙えるということも分かりました。この経験を生かし、今後の大会やインカレ中国予選に繋げ、今年より高い順位でインカレに出場し、来年は予選リーグを突破できるよう全員で力を合わせて頑張っていければ良いと思います。

木内一那（2年） この度は沢山のご支援ありがとうございます。初めての全国大会という舞台で緊張した部分もありましたが、チームとして今までしてきたことを信じて、一戦一戦全力で戦うことができました。これからも色々な方々からの支えに感謝の気持ちを忘れずに、頑張っていきますので、よろしくお願い致します！

大上咲来（2年） 試合の事はもちろん遠征に行く前からドキドキしていましたが、試合が始まる前まで、「ちゃんとエントリーできているかな」や「何かミスしていないかな」という思いが強かったです。プレーヤーとしては、数分しかコートに立てませんでした。今年一番の大きな仕事が無事終わって良かったと思います。次は、もう少しコートの上で活躍できるように頑張りたいと思います。

中村優羽（1年） インカレを通してシュート率の向上とチームディフェンス力の重要さを感じ、新たに課題が見つかりました。4年生が創り上げて下さった歴史や思いを受け継ぎ、来年もインカレ出場を目指します。広島都市学園女子バスケットボール部に関わっているすべての方々に感謝を伝えたいです。応援ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

土屋希心（1年） この度は、沢山のご支援とご声援をして下さりありがとうございました。全国に行つて同年代からの刺激を受けるのと同時に、来年もまたこの場所に来たいと強く思いました。その為に、自分の課題と向き合い、今よりも強くなります。これからもご支援、ご指導よろしくお願い致します。

畑田玲奈（1年） インカレに出場して、沢山の経験ができ、自分の成長や自信に繋がりました。そしてここまで支えて、応援してくださった保護者、先生方、関係者の方々への感謝の気持ちを忘れず、来年またこの舞台に戻ってこれるように頑張りたいと思います。

常松菜留実（1年） 今大会を通して、自分自身の成長や課題をしっかりと見つけることができました。関わってくださったすべての方々に感謝の気持ちを忘れず、次のステップに進めるよう頑張っていきたいと思ひます。

牧 彩華（1年） 今大会は試合に出ることはできなかったけど、試合に出ている人たちが思いっきりプレーできるよう、声を出し続けてベンチを盛り上げました。来年はコートに立てる時間を増やせられるようこれからも練習に励んでいくので、応援よろしくお願い致します。

野崎 想（1年） インカレを通して、自分の成長や課題を見つけることができました。支えてくださる保護者、先生方、関係者の方々への感謝の気持ちを忘れず、日々練習に取り組んで頑張っていきたいと思ひます。

